

設計・加工・小ロット・量産の「何でも屋」 「他にできない」を可能にする「頭脳集団」

株式会社キヤムブレイン

株式会社キヤムブレインは、東京都葛飾区、江戸川区に位置する設計・加工メーカーである。従業員20名程度の小規模工場であり、近隣が住宅地という「不利な条件」を克服し、試作・開発に強みを持つ「頭脳集団」として日本の製造業を支えている。その「日本製造業新時代」の象徴ともいえるキヤムブレインの力強さの源泉に迫った。



複雑形状の金属切削加工は高い技術力を要求される。

「高性能CADの活用」

キヤムブレインの社名のキヤムはCAD/CAMの「キヤム」である。その名のとおり、ハイエンド3次元CAD/CATIAのメリットを最大限生かし、CAD上のデータを直接、加工機に転送する「一貫製造システム」で、複雑形状の高付加価値加工品を短納期で製造することを可能とする。多軸加工を得意とする最新のマシンニングセンターや、形彫放電加工機によって金属加工はもちろん、あらゆる素材加工に対応し、半導体関連部品や真空ポンプ部品から航空機部品ま

で様々な品目に対応できることが、キヤムブレインの特徴である。

「営業」をしないのが「営業」

「お客さんに持ってきて頂いて頂いた仕事は何でも引き受ける」これがキヤムブレインの基本方針である。

したがって、製造品目は多岐にわたることになる。また、得意先から無理難題を言われることも多い。「他にできない仕事をする」という大田社長の見解通り、パレットチェンジャーを駆使し、「日替わりの生産ライン」、「量産と突貫への対応」を実現し、お客様の多様なニーズに短納期で応えること、またお客様にとつての「最後の駆け込み寺」的な工場であることが可能としている。したがって、キヤムブレインを頼りにしている得意先は後を絶たない。お客様のニーズに応え続けることが「営業活動」になっているのである。

得意分野に特化する工場が多い中で、大田社長はこう言い切る。「一般には、専門特化することが、

良い製品につながると思われていますが、できる人は何でもできるのです」

3次元CAD/CAM活用による設計と切削・放電加工技術を大切にする一方で、その得意技術の活用分野にはこだわらない柔軟な姿勢が、キヤムブレインの個性的な製造スタイルにつながっているのである。

社長が目指す「頭脳集団」

太田実社長は1993年、3名のスタッフと3台の設備でキヤムブレインを設立した。設計を独学し、英語のマニュアルに悪戦苦闘しながら、技術を身につけた。前職を辞めて、転職先を探しているときに、当時のお客さんから、「自分でやれ」と言われ



高稼働率を誇る加工機械が並ぶ工場。



「頭脳集団」を牽引する太田社長。

たのが独立のきっかけだという。創業時は事業が軌道に乗るまで、寝る間も惜しんで仕事をした。資金を捻出するために自分のオートバイや車を売ったこともあるという。

独立時の経験から太田氏は自己完結型の人材育成を目指し、実行している。図面起こしから納品までを、分業せずに1人が担当する。このスタイルは20代・30代中心の若いスタッフに、品質に対する強い責任感を植えつける。

「航空機部品などの不良は、即、人命に関わってきます。製品に責任を持って、と社員にはいつも言っています。」(大田社長)

今後もキヤムブレインは、太田社長が目指す「未来の製造をリードする頭脳集団」に向かってチャレンジし続

けるだろう。こういった小規模ながらも、確かな技術と柔軟な発想を持ち合わせた企業が「日本製造業新時代」の一翼を担うのである。

編集部/井口晋一朗

挑戦する製造業のための情報誌 [EMIDASマガジン]

EMIDAS

magazine file

Vol. 8 14-3 63-2513

2005 Winter

加工データ作成、5軸制御マシンニング
多軸NC形彫放電加工機による加工

midas/gaiyou.php?63659
検索「キヤムブレイン」で検索できます。
「ワーアップCD-ROM」にて、同社
ります!

山内雄矢
森雅彦
伊藤康裕
三輪隆一

NC Network China Now
冬号 日本製造業新時代